

1 主題構成表

主題名 やくそくや きまりを まもって

資料名 きいろいベンチ

(出典：わたしたちの道徳)

■内容項目 低C-(10) 規則の尊重
 (低) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。
 (中) 約束や社会の決まりの意義を理解し、それらを守ること。

■価値の分析

- ・約束やきまりを守ることは、社会や自分たちで決めた約束やきまりの意義を理解し、互いが気持ちよく過ごせる社会を目指すことである。
- ・特別支援学級の児童は、決まりを守ったり、みんなが使うものを大切にしたりすることに関しては、個によって認識力や行動力が異なる。学校生活のすべての活動において、みんなが使う物を大切にすることや、約束やきまりを確認する機会があり、一つ一つ見届ける必要がある。
- ・約束や決まりが理解できない、自分の欲望のままに振る舞う、約束や決まりを知っているもののなかなか行動に移せないなど、個によって理解や価値の違いがある。そこで、社会の法やきまりのもつ意義について考えることを通して、社会の法やきまりが、個人や集団が安全にかつ安心して生活できるようにするためにあることを理解できるよう指導していきたい。また、自分のわがままな行動が誰かに迷惑をかけ、嫌な気持ちにさせることから、約束や決まりを守ることや使う人のことを考えることに気付き、みんなを使う物や場所を大切にしようとする心情を育てていきたい。

■内容項目から見た児童の実態(意識)

- ・図書室の本やクラスボール、トイレのスリッパなどを大切にしなければならないことは、知識として知っていて、整頓したり大切にしたりすることができる。
- ・夢中になると、周囲の迷惑を考えずに遊ぶため、約束や決まりが守れなかったり、みんなが使うものを正しく使えなかったりしてしまうことがある。

■要因

- ・善悪の判断が不十分であり、自分勝手な行動を取ることで、周囲に迷惑をかけてしまうことに気付いていない。

■資料の分析

- ・本資料は、主人公のたかしたちが、雨上がりの公園のベンチにどろんこの靴のまま上がり、雨の日に作った紙飛行機を夢中で飛ばしたことにより、他の人が使うときに迷惑をかけてしまう話である。身近に起こりやすい出来事であり、共感しやすい内容である。
- ・降り続いた雨が止み、夢中で紙飛行機を飛ばしているたかしたちの様子から、久しぶりに思い切り遊べる思い、自分の楽しみに夢中になり、他の人の迷惑まで考えていない主人公の気持ちに、共感することができる。
- ・女の子のスカートの泥を落とすおばあさんの様子を見て、顔を見合わせたたかしたちは、他人のことを考えない自分勝手な行動によって、人に迷惑をかけたことに気付く。そしてみんなが使う物は、使う人のことを考えて大切に使うようにしなくてははいけないということに気付くのである。

■ねらい
 みんなが使う物を気持ちよく利用するためには、使う人のことを考えて行動することが大切であるということに気付き、みんなが使う物を大切にしようとする心情を育てる。

■他の教育活動との関連

<p>■事前 特別活動〈日常生活〉 特別支援学級で使っているおもちゃや掃除道具はきちんと片付けることができた。しかし、トイレのスリッパを揃え忘れたり、廊下を走ったりする姿がある。</p>	<p>■本時 「きいろいベンチ」</p>	<p>■事後 生活単元〈調理活動〉 調理後、次の人が気持ちよく使えるように、道具を丁寧に洗ったり、ふきんで水を拭き取ったりすることの大切さを伝えていく。</p>
---	--	--

■「私たちの道徳」の活用(授業前・授業中・授業後・活用しない)
 (活用の仕方) 「黄色いベンチ」(P124～127)の資料を活用する。「みんなが使うものを、どのように使えばよいか」(P122, 123)で、みんなが使うものをどのように使えばよいか交流する。

2 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇日常生活において、みんなが使う物にはどんな物があるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水飲み場 ・トイレ ・遊具 ・図書室の本 ・おもちゃ ・掃除道具 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を提示することで、身の回りには、みんなが使う物がたくさんあることに気付くようにする。 ・みんなが使っている物を大切に扱っているか確認することで、本時の価値への方向付けをする。
展開 前 段	<p>◇絵話を聞き、主人公の気持ちや行動について話し合う。</p> <p>○紙飛行機を飛ばしているとき、たかしくんたちはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しいな。 ・もっと遠くまで飛ばせないかな。 ・飛行機が飛ばせて楽しいな。 <p>○ベンチの上から紙飛行機を飛ばして遊んでいるとき、たかしくんたちはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高いところから飛ばすと、遠くまで飛んでうれしいな。 ・下で飛ばすよりも、高い方が遠くまで飛んでいくから、とっても気持ちがいいな。 ・おもしろいから、もっとどんどん飛ばしたいな。 <p>◎女の子のスカートの泥を落とすおばあさんを見て「はっ」としたたかしくんたちは、どんなことを考えたのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまった！どうしよう。 ・おばあさんに叱られるかな。 ・謝りに行こうかな。汚してごめんなさい。 ・ぼくたちが靴のまま乗ったから迷惑かけたな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>深めの発問</p> <p>○たかしさんたちは、どのように遊べばよかったのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・靴を脱いで、乗ればよかった。 ・ベンチは座る物だから、乗ってはいけなかった。 ・靴で乗れる高い場所を探して、紙飛行機を飛ばせばよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公は「たかし」と「てつお」であり、2人の気持ちを考えていくことを押さえる ☆状況把握しやすいように、紙芝居とペープサートを使って絵話をする。 ・意図的指名をすることで、全員が参加できるようにする。 ☆感想がうまく言えない児童については、「たかさんのよくないところは？」と聞くことで、問題点を明確にしつつ、参加できたことを認めていく。 ☆事前に紙飛行機を折り、実際にベンチ型をした踏み台の上から飛行機を飛ばすことで、感想を話しやすくすると共に、より遠くに飛んで気持ちがいいことに共感させる。また、ベンチには、汚れた靴で上ること、中心発問へつなげる。 ・雨上がりの公園で、地面のぬかるみによりベンチが汚れることを確認する。 ・夢中になっているときは、楽しさなどが優先されて、なかなか他者の存在を想像できないことに気付かせる。 ☆教師がおばあさん役、児童が女の子役と「たかし」役になって役割演技をし、汚れたいすに座ることで、汚れたいすに座りたくない気持ちを理解する。また、「たかし」役は様子を見ることで感想を話しやすくするとともに、自分本位の行動が、思いもよらぬ迷惑をかけてしまったことに気付かせる ・深めの発問をすることにより、楽しく遊ぶためにはどのようにすればよかったのか考えることで、次に使う人のことを考えてみんなが使う物を大切にすることに気付く。 <p>※自分本位の行動を反省し、他者を意識している気持ちについて考えを深めることができるようにする。</p>
展開 後 段	<p>◇自分の生活を振り返る。</p> <p>○みんなで使う物を、大切に使うにはどのように使えばよいか交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃは、投げたりせず、正しい使い方をする。 ・トイレのスリッパは、次の人のためにきちんと揃える。 ・遊具は、約束や順番を守ってけがをしないように使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なこととして、考えられるようにする。 ・導入で用いたみんなで使う物や場所、日常の具体的な場面を思い起こすような写真を提示して、いろいろな生活場面を振り返ることができるようにする。
終末	<p>◇説話を聞く。</p> <p>○日頃、みんなの物を大切に扱っている児童について紹介し、良さを広げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで使う物を大切にしようとする意欲を高めることができるようにする。

※人権教育の観点
☆どの子でもできる状況を生み出すための配慮